

水道事業の持続性

問

持続可能な水道事業への取組は

つばやき

人口減でも
未来を
切り拓く

答

広域化は見送り、
町独自の水道効率化を推進



質問者の動画が
視聴できます。

こん
今

かつよし
勝吉 議員



※IoT (Internet of Things) モノを
インターネットに接続し、相互に情報
交換を可能にする技術のこと。

問 町長
県の広域水道化構想に基づき、西北地区で4項目を検討したが、現時点ではコスト面や地理的要因から広域化のメリットは見いだせず、今後も協議を継続する。町独自では給水区域の統合による管理効率化を進め、施設の最適化やIoTの活用、職員の技術力向上にも取り組んでいます。

問 今議員
持続可能な水道事業のため、地域に合ったコスト削減や効率的な運営について、どのように取り組んでいるか。



◀ 深浦漁港

問 今議員
本町管理の漁港を多目的に活用し、カヌー等の乗り入れを促進することで、自然体験の機会を広げ、深浦の魅力向上と交流人口の増加につながると考えるが。

『漁港の多目的活用を模索、海業による地域活性化を支援』

漁港の多目的利用
交流人口の拡大を



答 町長
町が管理する12の漁港は漁業従事者や漁獲量の減少が続いており、町も海業の視点から活用策を検討中。カヌーやカヤックの乗り入れは地域活性化に一定の効果が見込まれるが、漁業への影響や安全面を慎重に検討する必要がある。漁協や漁業者が主体となって海業に取り組む場合、行政として支援したいと考えている。



風力発電事業の進行状況
深浦第二風力発電事業
計画通り進むのか

『再評価進めつつ』

計画継続』

問 今議員

風力発電事業のコスト高騰を受け、(仮称)深浦第二風力発電事業は計画通り進むのか。

答 町長

風力発電の事業者によれば、資材費や金利の高騰などにより事業性の再評価を行いながら計画を進めており、現時点では2029年着工、2031年運転開始を目指している。今後の状況により変更の可能性もあるが、地域と対話を重ねながら、共生型の事業を目指す方針。



物価高騰下の集会所運営

物価高騰で集会所維持に支障
町の対応は

『物価高騰に対応し集会所管理費を支援へ』

問 今議員

物価高騰で集会所の指定管理料が電気料等足りない状況にあるが、町の対応は。



答 町長

物価高騰により集会所の維持管理費が増加していることは認識しており、町では自治会の負担軽減のため指定管理料の増額や使用料負担の見直しを行っている。今後も各自治会の意見や地域間の公平性を踏まえ、必要な対応を検討していく。



スマートフォンなどで手軽に一般質問などの録画映像がご覧になれます!

議会だより内に掲載しておりますQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問や町長の提案理由の説明、採決の様子動画が視聴できます。ぜひ、ご視聴ください。

ただし、QRコードを読み取るためにはアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後にご利用ください。

※QRコードとは、今やいたる所で見かけるようになった四角い白黒の点で構成されたマークで、読み取れば簡単にいろんな情報を知ることができます。

議会録画配信

YouTube (ユーチューブ) で録画配信を行っております。



YouTube
 「深浦町議会チャンネル」